

雑木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市長区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Phone 045-894-7474

転居と断捨離

「今春、我が家は栄区小菅ヶ谷からここ南区别所へ転居してきた。今年も台風が各地で猛威を振るい多くの被害が出ているが、昨年秋の台風で我が家の屋根の一部がはがれ飛ばされたことが最大の理由である。急遽、応急処置を行ったものの本見積りを取り寄せるとかなりの出費を覚悟せねば成らなかった。考えて見れば無理もない、築40余年の木造建てはあちこちに傷みが来ているのである。このまま住み続けることを前提に本格的な改修を行うか、或いはいつそ転居するか多いに悩むところであった。それは息子が独立した時点であとの生活を考えると、いずれ身の丈にあった家に住み変えたいと思っていたからである。

悩んだ末の結論は後者の転居であった。ただ、転居するには体力的にもギリギリの年齢である。当初息子夫婦の住む関西への転居も考えたが、息子を始め何人かの知り合いから反対が出た。その理由は、高齢になっての知らぬ土地への転居は生活環境が一変し、肉体的にも精神的にも負担が大きく体調を崩す確率が高い、、、とのことであった。改めて転居先を地元横浜に変更、横浜に住む以上優待パスが有効に使用出来る「市営地下鉄」沿線の緑地に新居を求めたが、中々条件が折り合わず最終的にここ上大岡に着地した。奇しくも結婚当初から6年間過ごした上大岡には社宅があり、それなりに地の利もあり安心である。

転居先が決まると早速、引っ越しの準備に入る。小さいとはいえ一戸建てから更にコンパクトなマンションへの転居、処分しなければ成らない物は半端ではない。大物ではベット2台、和洋タンス4棹、民芸座卓1台、ソファー1セット、食器棚1台、と大変な量である。幸い民芸座卓とソファーセットは近所の方に引き取って頂いたが、他の品は行政に依頼し有料処分せねば成らなかった。このような大型ゴミだけでなく私自身の書籍、アルバム類、貯め込んだ各種の資料も1/3の量まで減らした。それでも段ボール8箱分は新居へ持ち込むことと成った。今回の転居作業で世に言われる断捨離の一辺にも触れたが、本来の断捨離にはほど遠いのが実状だ。

新居のマンションは中古ながら管理/修繕が行き届き小ざれいである。立地的にも上大岡駅から徒歩15分程度、バス停から3分の平地で近くに大型のスーパーもあるため家内は大喜びである。何よりも住宅地にあるため静かで、マンションへの出入りにはオートロックが採用されてセキュリティーも万全と言える。このように良いところだらけの新居だが、私にとって不都合な部分もある。以前のように手軽に出来た庭いじり、時折楽しんだ焚火、庭先での木工は断念せざるを得ず、ストレスが溜まりそうだ。それだけに、ここ観察の森での諸活動はストレス解消にもなり、私にとって一層重みを増した昨今である。

(片岡 記)

1. 8月運営会以降の活動実績

8月17日(土)	15名	炭窯小屋修理 午後運営会
8月21日(水)	8名	小屋修理 まき割り
8月24日(土)	10名	池ノ上草刈り ZFC通信印刷発送
8月28日(水)	6名	懸案事項打ち合わせ
8月31日(土)	19名	まき割り 管理7区玉切り 勉強会(電動工具の安全な使い方勉強会)
9月 4日(水)	8名	小屋屋根補修検討
9月 7日(土)	15名	炭小屋裏伐倒材の搬入 炭窯小屋修理 新入会員へのナタの使い方講習
9月11日(水)	12名	倒木の整理(通路確保)
9月14日(土)	15名	森の作業体験(間伐) 木工
9月18日(水)	8名	通行止め区間の枝折れの処理 電源ボックスの修理

2. 連絡、確認、提案

1. 観察の森まるごと体験(10月20日)スタッフの件

実施要項を別紙に基づいて説明

コースターづくりのスタッフとして張間さん、片岡さん、池澤さん、大西さん、星隈さん、小島に願います。
2台で対応する。

2. 行事予定

金沢いきいきフェスタ 10月19日(土)

栄区区民祭り 11月2日(土) ZFCより関根さんが参加する(中里さんに連絡)

木工品の販売については事務局の許可が必要(費用や手続きが面倒なので今回はなし)ある団体はこのイベントに向けて1年前から準備をしている

3. 炭焼きスケジュールの確認(11月16日~17日)

本窯(片岡さん)資料に基づき説明

10月から11月前半にかけて炭材作り、上げ木、敷木作りを行う。材が足りなければ伐倒を追加
窯の点検補修(焚口密閉用土準備、煙突点検、温度センサー測定器点検など)

用土が足りなければ新たに調達するか荒木田等を使う

ドラム缶窯(谷垣さん説明)

炭材(間伐材)については9/21の7区の伐倒材で足りるのでは、足りなければ新たに調達

今回は焚口に隙間があり、空気が入って燃えすぎた。焚口の補修が必要

また炭材が細く、できた炭が鉛筆のように細くなった。今回は3から3.5cmにしてやや太い炭を目指す。
時間は9時から17時までの8時間と9時から20時までの11時間と時間を変えて行い、時間による違いを検討する。温度センサーの直しを行う。作業としては炭材作りを10月半ばに終わらせたい。9時から17時までにはできる方法を検討すべきではないかという意見があった

スタッフについては10月の運営会で決める。本窯は4名が必要

新人はまき割りから参加してもらおう役員から案内する

4. 大型まき割り機の設置状況(片岡さん)

26日に購入先で動作試験を行う(片岡さん立ち合い)。設置の条件(コンクリートが必要なのか等)がわからないので当日確認 また搬入の方法についても確認 外で保管できるのかあるいは屋内の保管が必要なのかといったことも確認

5. ZFCの資料管理案(池澤さん)

資料の整理 20年前の資料は廃棄 会計資料 保険関係資料 取説 技術資料などは保管

センターの保全関係資料 友の会関係 ZFCの会議資料 外部団体への発信受信資料 炭焼き資料を新たに作る 保管期間は原則5年

6. その他

・ろう学校(はまっ子)の件 事務局に連絡したが学生の連絡先はわからない、もし分かったら連絡すること

・植栽実施内容 センターと調整して捕植場所を選定する くぬぎ林や畑で捕植ができる場所を選ぶ 落合さんと話をする くぬぎ林は日が当たるところがよい

・10月勉強会のテーマについて

掛下チーフによる樹木の観察会を予定

3. 9月・10月活動予定

- 9月21日(土) 運営会 懇親会
- 9月25日(水) 炭小屋作業 管理7区玉切り材の搬入
- 9月28日(土) 大型巻き割り機設置場所の整地 木工 ZFC通信印刷発送 安全規約の打ち合わせ
- 10月 2日(水) 炭小屋作業 大型まき割り機設置場所の整地
- 10月 5日(土) くぬぎ林伐倒(炭小屋補修材の調達、炭材用木材)
- 10月 9日(水) 炭材作り(ドラム缶窯用)、
- 10月12日(土) 伐倒材の搬入 炭材作り(ドラム缶窯用)
- 10月16日(水) 炭小屋作業 本窯用上げ木作り 本窯、ドラム缶窯炭材作り
- 10月19日(土) 管理1, 2区のスギ檜の伐倒 午後運営会、金沢いきいきフェスタ
- 10月20日(日) 観察の森まるごと体験
- 10月23日(水) 炭小屋作業 炭材作り
- 10月26日(土) ZFC通信印刷発送 木工工作 炭小屋整理 勉強会
- 10月30日(水) 炭小屋作業 炭材作り

炭材用クヌギの伐倒については適宜設定する

捕植についてはクヌギ林を調査し、可能なところを選ぶ

ゴロ報のアンケート 10月12日までに小島まで提出してください。

12月14日(土) ZFC忘年会 12月22日(日)友の会望年会